

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

対象者 市内在住の認定就農者等
(就農時から5年以内、65歳未満)

内容 次の場合に助成する。
(1) 農協または公社が認定就農者等に対し、就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
(2) 認定就農者等が自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合

補助率 1/2(事業費上限2,000万円)



干拓地には大根畑も広がる

認定就農者に借地料を助成
農地賃借料補助金

認定就農者を対象に農地賃借料を助成
(5年間、限度額20万円/年)

借家の改造費・家賃を助成
就農住宅整備事業

認定就農者等が借り受ける借家の改造費や家賃の一部を
就農から5年間、助成
(補助上限:改造費=100万円/戸、家賃=2万円/月)

2 移住・定住者向けの主な支援制度

子育て

保育料軽減

保育料徴収基準額を国の基準に比べ低く設定

その他

地域子育て支援センターの設置、ファミリーサポートセンターの設置など

妖怪街道は福を呼ぶ ~ 「水木しげるロード」の誕生と発展

Town Topics

JR境港駅から約800mにわたり、商店街に大小の妖怪ブロンズ像が立ち並ぶ「水木しげるロード」。平成5年のオープン時には23体だった像は、平成21年現在、134体を数え、観光客数170万人を上回る県内有数の観光地に成長している。

整備前の商店街は地方都市によくある寂れたシャッター通り。そこで、活性化対策のため市役所内に設けられたプロジェクト委員会は、平成2年、まちづくりフォーラムを開催する。ここにパネリストの一人として出席したのが、地元出身の漫画家・水木しげるさん。これがすべての始まりだった。

これをきっかけに委員会は、妖怪ブロンズ像設置による振興策をまとめたものの、妖怪の不気味なイメージから商店街ばかりか市役所内からも反対論が噴出。それでも担当者の粘り強い説得で同意を取り付け、国の助成事業を使って商店街の一角に、平成4年の6体に続いて翌年17体を加え、約300mの小さな妖怪の道がスタートした。

その矢先、人知を超えた「妖気」の仕業か、思わぬ追い風が吹く。オープン3日後に像が盗まれたニュースが全国放送されて話

題を呼び、物見高い人々が県内外から多数、訪れるようになったのだ。3年後、街道は約800m、像は80体に拡大。同時に、「世界妖怪会議」などソフト事業も熱を帯び始めた。

平成15年に中核施設「水木しげる記念館」が完成すると、事業の担い手は行政から民間主導へ移る。国の助成事業が終わり財政余力に乏しい市では像の増設が望めなくなったからだ。そこで商店街有志の団体などが中心となり、スポンサーを全国公募。寄贈者名を記したプレートを付ける特典もあって、わずか2か月で目標額を突破する。そして、妖怪像が100体を超えた平成17年、春の大型連休に22万人以上を集め、県下一の座を鳥取砂丘から奪った。

その後も地域一体となったイベントや映画、テレビなどメディアとの連携が奏功。今やカニ、マグロなど水産物と並んで、境港市を代表するブランドとして高い認知度を誇る。

地域に数々の幸運と住民の固い絆をもたらした妖怪たちが、これからどんな活躍を見せてくれるのか、目が離せない。



協力 / 水木プロ

担当者メッセージ

境港市商工農政課
遠藤 史章さん



境港市は、西日本有数の水揚げを誇る漁港と多くの観光客で賑わう妖怪ロードのある「さかなと鬼太郎のまち」。農業では、市の基幹作物・白ねぎが甘味抜群と市場でも高く評価されています。そんな境港市で農業を始めませんか？ 就農全般にわたり私たちが全力でサポートします！

新規就農者紹介

河岡 誠さん

平成19年3月に就農。市の特産品・白ねぎを350a栽培している。「これからの日本や世界を担っていくのは農業」という河岡さん。現在の仕事に大きな意義と誇りを感じている。「だからこそ胸を張って農業を楽しみましょう」と呼びかける。



協力 / 水木プロ

半島の先端は感動と喜びのワンダーフロント。

水木ワールドを彩る「鬼太郎ファミリー」の妖怪たち。妖怪ロードでは着ぐるみも舞台を盛り上げる

まちの環境と農業

environment & agriculture

気候

島根半島が防波堤に

平均気温は15~16 程度と比較的温暖。冬期は積雪もあるが、すぐ北にある島根半島が天然の防波堤となり、県内他地域に比べて穏やか。



地勢

砂州北端の平坦地、漁業基地

長さ約20kmの大砂州である弓ヶ浜半島の北端に位置し、三方を海に囲まれている。市域は標高2m内外の平坦な砂地。東側は大山を望む白砂青松の海岸線が続く。重要港湾として整備され、山陰随一の漁獲量と貿易高を誇る。水産加工業も盛ん。



農業

白ねぎなど畑作物が主体

農業産出額は約11億円(平成18年)。砂丘地のため稲作は少なく、野菜など畑作物が主体。品目は、県内有数の産地である白ねぎのほか、甘藷、里芋、大根など。

主な農産物

agricultural products

砂地に適応し産地確立

白ねぎ



市域すべてが砂丘地である境港市の特産品は、やはり砂地に適した白ねぎだ。市内で栽培が始まったのは昭和初期。それまで市の農業は養蚕のための桑栽培が主体だったが、世界的な不況で繭の価格が暴落をしたのを受け、転換作物として栽培面積が拡大。昭和30年ごろに産地としての地位を確立した。薬味や鍋物などに欠かせない食材だが、最近ではラーメンの具や天ぷらなど新たな用途も模索されている。



境港市

三方を海に囲まれる弓ヶ浜半島北端のまち、境港市。漁業中心の産業都市として発展を続けるウオーターフロントだ。一方で、ここは「鬼太郎」など水木しげるの世界を生んだ場所。感動と喜びに満ちた「ワンダーフロント」でもある。

【さかいみなど・し】

BASIC DATA

| | |
|--------|--------------|
| 人口 | 36,416人(H21) |
| 農業就業人口 | 335人(H17) |
| 面積 | 2,879ha(H21) |
| 経営耕地面積 | 199ha(H17) |
| 特産品 | 白ねぎ、甘藷ほか |



お問い合わせ先

境港市商工農政課
〒684-8501 鳥取県境港市上道町3000
☎ 0859-47-1049
http://www.city.sakainato.lg.jp/